

集約化・提案型森林施業 かわら版

第4回全国提案型施業事例発表会を開催！

1月27日(木)、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、提案型集約化施業の普及・定着を進めるため、森林組合や民間事業者から約100名、都道府県職員等約100名が参加して、事例発表会が開催されました。

発表会は、主催者代表として全国森林組合連合会の梅野専務、来賓として林野庁の末松林政部長の挨拶から始まりました。

末松林政部長は、「森林・林業再生プラン」実践の元年です。施業の集約化については、森林施業プランナーの活躍に期待しており、「できること」からしっかり取り組んでいきたいと思いますと挨拶されました。

続いて、全国森林組合連合会担当者より、これまで4年間(H19～H22)の森林施業プランナー育成研修の取組実績等を報告し、林野庁担当者より、平成23年度の育成研修の概要等について情報提供しました。

事例発表については、三次地方森林組合(広島県)から、これまでの提案型集約化施業の取組、また、岐阜県可茂農林事務所より、「森プロ」(健全で豊かな森林づくりプロジェクト(県単独事業))をモデルとした集約化推進支援の取組が発表されました。

午後からは、提案型集約化施業を進める上での課題解決に向けて、①団地設定・境界確認②プラン作成・施業提案③作業道・作業システム・森づくり④提案型施業と経営について、それぞれのテーマ別に、全国部会の委員とその事務局及び先進的な取組をしている林業事業者の森林施業プランナー等が参加してワークショップが行われました。

その中で、過去の航空写真(植栽した当初は境界がはっきりしている)から境界確認している取組や座談会等の説明会資料は写真や図等で分かり易く工夫する必要があることなど、現場での取組が報告されました。

後日、「第4回全国提案型施業事例発表会報告書」を作成し、関係者へ配布致しますので、ご活用下さい。

問い合わせ：全国提案型施業定着化促進部会事務局
全国森林組合連合会 組織対策課まで(03-3294-9717)



挨拶する 梅野 専務



挨拶する 末松 林政部長



発表する 真廣氏
(三次地方森林組合)



発表する 高井氏
(岐阜県)



ワークショップの様子

平成23年度の森林施業プランナー育成研修について

森林施業プランナーの増員を図るため、基礎的な研修を復活し、能力向上のためのステップアップ研修と専門家派遣を継続実施します。

研修の種類	研修の概要	研修対象者	日程	定員	回数
基礎的研修 ・基礎研修	提案型集約化施業の基本的な考え方を学ぶ	新たに森林施業プランナー育成に取り組む事業者の職員等	2泊3日程度	1回当たり40人程度	延べ5回程度
・現地研修	現場での実習等により現場実践技術を習得		2泊3日程度	1回当たり30人程度	延べ7回程度
ステップアップ研修	組織が一体となって取り組むための体制作りを行う	取組実績等のある事業者	3泊4日程度	1回当たり40人程度	6回程度
地域個別指導 ・専門家派遣	取組に不安等をもつ事業者へ専門家を派遣し指導	基礎研修等を修了し、提案型集約化施業を実践している事業者	2泊3日程度	1事業者	240回程度
・OJT研修	先進的な取組をしている事業者で実践的な技術等を学ぶ		5日程度	1事業者	60回程度

※ 実際の研修内容は、本表と異なる場合があります。

平成23年度の森林整備地域活動支援交付金について

平成23年度から間伐に対する国の補助金が、5ha以上集約化した場合に限定されます。集約化には所有者や境界の確認、施業の同意とりつけなど手間暇、経費がかかります。本交付金を活用することで、この集約化活動に対する支援を受けることができます。

※ 支援を受けるには、市町村と協定の締結(これまでに、協定締結している場合は協定変更)が必要です。

○これから支援の対象となる活動

①森林経営計画(仮称)作成促進

森林施業計画が策定されていない森林において、森林経営計画(仮称)を作成するために必要な活動に対して支援します。

交付金額(国費分^(注)): 4,000円/ha

(森林経営計画(仮称)作成のための合意形成ができた森林面積あたりの単価)

支援対象活動

計画策定に必要な

- ・説明会の開催、個別説明
- ・森林簿情報の収集、施業履歴の整理
- ・森林のプロット調査 等

②施業集約化の促進

森林施業計画等が策定されている森林で、集約化実施計画に基づき、間伐の実施前の段階で必要となる集約化に必要な活動に対して支援します。

交付金額(国費分^(注)): 24,000円/ha(境界不明瞭)

16,000円/ha(境界明瞭) 等

(搬出間伐等の実施に関しての合意形成ができた森林面積あたりの単価)

支援対象活動

集約化施業に必要な

- ・施業地や作業道予定地の現地調査
- ・境界の確認
- ・施業対象地の森林所有者への説明
- ・施業提案書の作成 等

③作業路網の改良活動

森林施業計画が策定されている森林において、既存の作業路網を簡易で丈夫な路網に転換していくための点検・改良活動に対して支援します。

交付金額(国費分^(注)): 2,500円/ha

(森林施業計画が認定されている人工林又は育成天然林の面積あたりの単価)

支援対象活動

既存の作業路網について、

- ・改良箇所の洗い出しのための点検
- ・改良活動(路盤補強、排水施設や土留の設置等)

(注) 交付金額については、国費からの交付額のみを記載しています。地方公共団体(都道府県・市町村)からの交付額は市町村等担当者にお尋ね下さい。

「J-プランナー研修」が全国4ブロックで実施されました！

全国森林組合連合会・農林中央金庫の共催により、平成22年11月～12月にかけて、森林施業プランナー育成のための基礎的な研修メニューを中心とした「J-プランナー研修」が開催されました。この研修は全国4つのブロックにおいて開催され、それぞれブロックの講師組合を朝倉森林組合、那須町森林組合、飯伊森林組合、龍神村森林組合が担当しました。

また、本研修では、合計102組合・連合会(うち93組合、9連合会)、133名(うち森林組合は122名、連合会は11名)が参加しました。

○「J-プランナー研修」実施ブロック・開催時期・開催組合・参加組合数・連合会数・職員数

ブロック名	開催時期	講師 森林組合名	参加組合・連合会数			参加職員数		
			組合	連合会	計	組合	連合会	計
九州	11月15日～11月17日	朝倉(福岡県)	20	—	20	29	—	29
東北・関東	11月24日～11月26日	那須町(栃木県)	23	3	26	27	4	31
北陸・中部	11月30日～12月2日	飯伊(長野県)	21	1	22	27	1	28
近畿・中四国	12月15日～12月17日	龍神村(和歌山県)	29	5	34	39	6	45
合計			93	9	102	122	11	133

研修初日は、地域において集約化施業に取り組んでいる森林組合による講義や地域の低コスト林業に関する取組等の講義を行いました。

2日目は、プロット調査、工程別単価方式の講義、施業プラン作成演習等を行いました。

最終日は、今後の課題とその解決策について、グループワーク形式で取りまとめを行いました。各グループが発表を行い、それぞれの課題・解決策等について共有化しました。

1日目の様子



講師組合による講義

2日目の様子



プロット調査実習

3日目の様子



グループワークショップ課題&解決策



県の低コスト林業の取組み



森林施業プラン作成演習



課題と解決策を発表

<http://www.rinya.maff.go.jp/seisaku/sesakusyukai/syuyakuka/newsletter.html>

企画・発行: 林野庁林政部経営課 提案型施業推進事務局 TEL: 03-3501-3810/Fax: 03-3502-1649